

れきし

# てらす通信

《発行》

新座市立歴史民俗資料館

野火止二丁目9番37号

TEL:048-481-0177

FAX:048-481-0149

MAIL:rekimin@city.niiza.lg.jp



第9号（令和7年7月）

## 33年に一度の扉が遂に開かれました！



4月4日、御開帳の瞬間

去る4月4日から6日にかけて、市内大和田の福壽山普光明寺の秘仏「千体地蔵尊」の御開帳が33年ぶりに執り行われました。

普段は静寂な境内も、この日はお守りや御朱印を頒布するテントや屋台が立ち並び、市指定無形文化財の「大和田囃子」や応援に駆け付けた所沢市の「南永井囃子連」がお囃子を奏で、まるで縁日のようなお祭りムード。33年に一度という歴史的な護摩焚きや稚児行列を一目見ようと、多くの参拝客でにぎわい、その列はお寺の外まで続くほどでした。

次回の御開帳は令和40年（2058）です！それまでの33年間、千体地蔵尊は長い長いお休みに入ります。再び地蔵堂の扉が開かれたとき、お地蔵さまは目覚ましい発展を遂げた故郷の姿を見てきっと驚くかもしれませんね！

企画展「普光明寺と大和田展」にお越しいただいた皆様もありがとうございました。

## 「片山村150周年記念展」開催中です！



33年ぶりの御開帳に沸き返る旧大和田町。これに負けてはいられない、と名乗りを挙げたのは旧片山村。村が誕生して150周年を迎える記念すべき年に、れきしてらすではこれをお祝いして、5月17日（土）から7月20日（日）まで「片山村150周年記念展」を開催中です。

柳瀬川という水に恵まれた立地の大和田町と同様、片山村も黒目川の恵みによって独自の発展を遂げてきました。本展示では10か村に分かれていた時代から、明治8年（1875）に合併するまでの軌跡を追いながら、様々な資料をもとに片山地区の歴史を紐解いていきます。

# 夏休み！親子で参加できるイベントのご案内

## ①睡足軒の森 落語体験と怪談落語

日時：8月3日（土）

午後4時～5時30分

電子申請（多数の場合抽選）

※詳細は広報にいざ7月号で。



## ③勾玉作り体験

日時：8月23日（土）

午前10時～2時間程度

電子申請（多数の場合抽選）

※詳細は広報にいざ8月号で。



## ②みんなで学ぼう！菅沢の歴史・

押絵羽子板制作の実演

日時：8月16日（土）

午前10時～正午

電子申請（多数の場合抽選）

※詳細は広報にいざ7月号で。



【特報】野火止用水開削370周年記念

「未来に残したい野火止用水の風景」

9月5日（金）まで、小学3・4年生

を対象に野火止用水を描いた作品を募集

します。詳しくは新座市のホームページ

をご覧ください。

# まだまだ続く「150周年記念」！

今年市制施行55周年！市を挙げて記念イベントがたくさん企画されていますが、れきしてらすもまた「周年」事業が盛りだくさんです！

今年日本近現代の電力業界の歴史にその名を轟かせた「電力の鬼」こと松永安左衛門の生誕150周年にも当たります。実業家として辣腕を振るった彼は、「鬼」と例えられる一方で、「耳庵」の号を持つ近代小田原三茶人の一人という、風流人としてのもう一つの顔を持っていました。松永安左衛門と新座市、一見何の縁もなさそうに見えますが、さにあらず！安左衛門は新座市に睡足軒をもたらし、墓所は平林寺にあります。また、中野に隣接する土地に別荘・柳瀬荘を持ち、市内のサンケン電気や、慶應義塾志木高校とも縁が深い人物なのです。

れきしてらすでは、この松永安左衛門にスポットを当て、彼が新座市近郊に残した足跡を追い、その人物像に迫る企画展示と記念講演会、関連事業を今秋開催します。出身地・吉岐に始まり、実業家として成長した福岡、終焉の地である小田原など、関係各方面に赴いて取材を重ね、充実した展示となるよう準備を進めておりますのでご期待ください！

今号のコラム【学芸員のつばやき】はお休みさせていただきます

次回の「れきしてらす通信」は11月発行の予定です  
最新情報は「広報にいざ」または新座市のホームページをご覧ください！



れきしてらす